

オカムラグループ環境方針と環境戦略

オカムラグループは、トップマネジメントが環境への取り組みに関する全体的な意図および方向付けを「オカムラグループ環境方針」として表明しています。グループとして共通の環境方針を掲げて環境活動に取り組むことにより、グループ全体の環境パフォーマンスの向上と環境負荷の低減につなげています。

オカムラグループ環境方針

環境基本方針

オカムラグループはGREEN(環境配慮)のWAVE(波)を自ら起こしその波に乗るという「GREEN WAVE」の考えの下に、すべての事業活動で経営資源(人・設備・材料・技術)を活用して環境負荷低減活動を実践します。さらに、その成果をステークホルダーの皆様に提供することで「持続可能な社会の構築」に貢献いたします。

環境行動指針

1. オカムラの実践

オカムラは、ものづくりとコミュニケーションを通じて環境負荷の低減を推進します。

● 重点項目

・ものづくりでの環境保全活動

開発・製造・販売・物流のそれぞれの分野を通じて環境保全活動を実践します。

・社会に広げる環境活動

事業や従業員の活動を通じて、地域・社会とのコミュニケーションを拡大し、相互理解を深めます。

(主な活動項目:地球温暖化防止、省資源・廃棄物削減、生物多様性保全)

2. オカムラの提案

オカムラは、事業活動を通じて、お客様の環境負荷の低減のお手伝いをします。

● 重点項目

・製品の提案

お客様が満足できる、環境に配慮した製品を提供します。

・空間の提案

環境負荷を低減できる空間をプランニングします。

(主な活動項目:環境配慮製品・空間プランニング、製品情報開示、製品リスク対策)

この環境方針を達成するためにサイトの特性を考慮した環境目標を階層別に設定し活動いたします。そして、決定した順守義務を満たし、汚染の予防並びに環境マネジメントシステムの継続的改善により、「持続可能な社会の構築」に貢献いたします。

この環境方針は、オカムラグループ各サイトのすべての要員に周知すると共に、一般の方々にも開示いたします。

■ オカムラグループの環境戦略

オカムラグループは、「オカムラグループ環境方針」に基づき10年ごとに策定している環境長期ビジョンを2021年に見直し、事業活動に伴う環境負荷の低減の重要性を認識し企業の社会的責任を果たす経営を目指す新たな長期ビジョンとして、「GREEN WAVE 2030」を策定しました。

オカムラグループでは、サステナビリティにおける重要なテーマの一つとして「地球環境への取り組み」を位置付け、「サーキュラーエコノミーの推進」「持続可能な自然資源の利用と保全」「気候変動問題への貢献とカーボンニュートラルの実現」を重要課題と特定しています。これらの課題を環境長期ビジョン「GREEN WAVE 2030」に落とし込み、グループ全ての事業活動において環境負荷の低減に取り組むとともに、お取引先やお客さまとのパートナーシップにより積極的な環境活動を推進していきます。

さまざまな環境活動について、主に社内における取り組みを「エコの種」、お客さまやサプライチェーンを視野に入れた取り組みを「エコの実」と名付けて活動を行っています。

気候変動への対応

オカムラグループではスコープ1およびスコープ2の排出量は、

「2030年度までに2020年度比50%削減」「2050年までに実質ゼロ」を目指し、スコープ3の排出量は、「2030年度までに2020年度比25%削減」という目標を設定しています。これらの目標の達成に向けて活動をさらに加速させるために再生可能エネルギーの利用を拡大し、太陽光設備の導入および省エネルギー設備への切り替えを計画的に推進しています。また、気候変動が事業に与える影響をリスクと機会に分類し、それに基づいたKPIの設定と具体的な対応策の立案が、持続可能な社会の実現および事業の持続可能性に不可欠であると認識しています。2021年4月にはTCFD提言への賛同と情報開示を行いました。2023年度には従来の2℃未満のシナリオ分析から、より野心的な1.5℃シナリオによる分析を行い、気候変動によるリスクと機会の見直しを行いました。さらに、2024年度には、2050年カーボンニュートラル実現に向けた移行計画についてより具体的な検討を進め、温室効果ガス排出量削減ロードマップを可視化しました。また、2025年度よりインターナルカーボンプライシングを試行的に導入します。生産設備更新などの際に、CO₂削減効果をコスト評価した投資判断を行い、低炭素設備投資を促進します。

生物多様性への対応

オカムラグループは、事業活動が自然資本に依存し、かつ影

響を及ぼすとの認識のもと、環境活動の指標と目標を掲げ、計画的に環境負荷低減に努めてまいりました。

生物多様性の保全に関しては、ACORN（エイコーン）活動の活動指針である「自然環境保全」「資源の利用」「環境教育」「パートナーシップ」に基づき、木材の合法性確認や認証材の積極的な利用を進めています。また、自社生産事業所周辺地域やパートナーと連携しながら、生物多様性の損失を食い止め回復軌道へと転換させる「ネイチャーポジティブ（自然再興）」に資する取り組みを推進しています。

また、TNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）の考えに賛同し、「TNFD Adopter」*に登録しました。事業活動が自然資本に与える影響と依存度を評価し、TCFDの情報開示に加え、TNFD提言に基づいた情報開示を進め、自然と共生した持続可能な社会の実現に貢献していきます。

* TNFD Adopter：TNFD提言に沿った情報開示を行う意思を表明した企業・組織

 **オカムラグループ**
TCFD・TNFD提言に基づく情報開示（2025年6月）

省資源・廃棄物削減への対応

オカムラグループでは製品の塗装工程において水資源を使用しています。水資源の枯渇により生産工程が停止するリスクに備え、各拠点で水使用量を把握・管理するとともに削減目標を設定して削減に取り組んでいます。また、循環節水システムの導入や雨水利用システムの導入により削減に努めています。原材料の使用量削減については、スコープ3のカテゴリ1算定やカーボンフットプリント算定に係り資材投入量を把握し、今後削減目標の策定に向け取り組んでいきます。

廃棄物削減については、生産における材料の歩留まり率向上や生産系廃棄物のリサイクル率向上に取り組んでいます。

（関連 [▶ P.57](#)、[▶ P.63](#)）



オカムラの実践「エコの種」

「エコの種」とは、次のような、お客様の目に見えない部分での努力のことです。

- 素材の使用
- 生産方法
- 輸送や梱包



オカムラの提案「エコの実」

「エコの実」とは、お客様にとって次のようなメリットが多く詰まった製品・サービスのことです。

- 使用するとき多くのエネルギーを使わない製品・サービス
- ムダなスペースの少ない空間や高機能で居心地のよい空間づくり
- 有害な化学物質を排除した製品
- 高い転用性と耐久性で長期にわたり使える製品